

市政に関する一般質問 12月会議は18名の議員が質問

公共施設への太陽光発電システムの導入について

宗川 洋一 議員

問 太陽光発電システムの導入について、市の対応を伺います。

答 公共施設の屋根を民間事業者が貸し出し、再生可能エネルギーを活用するPPA方式の実現を目指した「公共施設における率先的な太陽光発電等の設置取組方針」を令和4年10月に策定しました。

問 対象となる公共施設を伺います。

答 鎌ヶ谷市地域防災計画で災害時に避難施設等として位置付けられた公共施設、または業務継続計画により災害等発生時の防災拠点等を対象と想定しています。

鎌ヶ谷市内における国・千葉県の事業について

松澤 武人 議員

問 国道及び県道に対する市民からの要望と対応について伺います。

答 市内には、国道404号をはじめ主要地方道3路線が東西南北に走り、いずれの道路も交通量が多い状況です。このため、市民からは歩道の新設や既存の歩道の段差解消など維持管理について日頃から多くの意見や要望をいただき、

令和5年度予算編成について

小易 和彦 議員

問 重点的に実施する施策など、予算編成に対する市長の決意を伺います。

答 令和4年度予算では、公約で掲げた「今を大切に、未来に希望を持てるまちづくり」への第一歩を踏み出すことができたと考えており、令和5年度予算ではその歩みをさらに進めていくという強い

の現場調査等を行い、国への補助金の交付申請等を経て、順次工事を実施していく予定です。



消防本部屋上に設置されている太陽光発電設備

近までの約450m区間の歩道整備事業に着手し、安全安心で快適な歩行空間の確保に努めています。



「くり」と、まちづくりの5つの政策について、引き続き重点的に取り組んでいきます。特に北千葉道路は、本市の将来を左右する大変重要な事業であり、これまで以上に積極的な事業展開を図ります。



第4次鎌ヶ谷市歩道等整備計画の内容と課題を問う

津久井 清氏 議員

問 鎌ヶ谷市市民意識調査によると、道路の状況に対する市民の満足度は平成25年度66.4%、平成30年度65.7%と極めて高くなっています。市の認識を伺います。

答 より一層、道路整備を進めてほしいとの市民の声を受け止め、引き続き道路整備等を進めます。

問 市民の道路に対する要望を集中的に聴く「道路月間」等を設けてはいかがですか。

答 要望等は電話やメール等を通じて伺っています。

がん対策について

伊福 幸一 議員

問 前立腺がん検診の導入及び検診費用の助成について、市の見解を伺います。

答 前立腺がん検診は、公的に実施する対策型検診として推奨されていないことから、本市では実施していません。

また、費用助成も行っていないが、前立腺がんは5年生存率が98.7%と高いものの平成27年度以降、男性が罹患するがんの中で最も多いがんであることから、国の動向等を注視しながら調査研究してまいります。



問 医療用ウィッグや胸部補整具購入費用などの助成を行うアピアランスサポート助成事業の導入について、見解を伺います。

議会だよりについて ご意見・ご感想をお寄せください

お気づきの点などございましたら、電話や、ホームページのお問い合わせメールフォームからお知らせください。いただいた貴重なご意見等は、今後の議会だより作成の参考とさせていただきます。

自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画について

鈴木 哲也 議員

問 他市で実施された自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)のモデル事業について内容を伺います。

答 博物館や動物園の案内等のポランティア、健康イベント等へ参加した場合にポイントを付与するなど、内容は多岐にわたります。

妊娠から子育て期までの切れ目のない支援について

富田 信恵 議員

問 核家族が進む中、慣れない育児や家事と仕事の両立に心身の健康を崩す産婦も多く、産後の家事、育児支援について独自の支援事業や民間サービスの費用助成を開始している近隣市も増えています。各市の取組状況を伺います。

答 白井市、我孫子市、市川市、流山市では、市や民間の委託事業者からホームヘルパーを派遣し、家事支援や育児の相談助言を行うヘルプサービスを実施しています。

マスク着用による子どもの発育への影響について

河内 一朗 議員

問 長期間のマスク生活による、子どもたちの健康被害やコミュニケーション能力の低下を指摘する声に対する市の見解と対応策を伺います。

答 「相手の感情が読み取りづらい」「自分の意思を伝えるにくい」などコミュニケーションに関する問題を懸念する声があることは承知しています。

地域の活性化に向けたまちづくりについて

中村 潤一 議員

問 市街化区域と市街化調整区域の概要を伺います。

答 都市計画法に基づき、優先的に市街化すべき市街化区域と、当面できる限り市街化を抑制すべき市街化調整区域とに区分されるもので、本市の両区域の面積は、おおむね

同程度となっています。

問 市街化調整区域の現状と課題を伺います。

答 軽井沢、佐津間、栗野、初富、串崎新田、中沢では高齢化率が高い傾向が見られます。自然環境の保全と農業の活性化、地域の暮らしを維持

問 鎌ヶ谷市第3次行財政改革推進プランの取組項目の一つに「マイナンバークードの利用促進」を定めており、国が構築及び運用しているマイキープラットフォームを活用した独自サービスを調査、研究し、導入を検討します。今年度は、昨年度に実施した国の自治体ポイントのモデル事業の情報収集及び効果検証を予定しています。

問 市で事業は実施していませんが、ふれあいサービス事業を実施している社会福祉協議会に補助金を交付することで支援しています。市のファミリーサポートセンター事業については、近隣市や市民ニーズを注視し、援助対象年齢を6ヶ月未満へ引き下げる等調査研究してまいります。

問 現在、教育委員会から各学校へ通知しているところですが、感染状況の落ち着きが見られた適切な時期に、場面に応じたマスクの着用について、教育長通知の発出を考えています。



問 無秩序な土地利用とならないことを前提に、福祉施設など公共性の高い施設などの建築が可能です。今後計画されている北千葉道路沿線では必要に応じて土地利用方針などを検討します。